

□■受験対策ミニ講座 8号 2021□■（養成所ニュースプラス第14号）

10月24日は、国際連合の発足を記念した国連デーでした。今、世界は新型コロナウイルス感染症、紛争、飢餓、貧困、気候現象など多くの課題に直面しています。国連のグテーレス事務総長は、「より包摂的でネットワーク化が進んだ、効果的なグローバル・ガバナンスを構築し、団結して重大な課題に取り組み、SDGsを推進する必要がある」というメッセージを発信しました。

また、事務総長はこの日に先駆けて、9月10日に「私たちの共通の課題」を発表し「今こそが、すべての人々のためにすべての人々と連帯し、私たちの旅路においてともに次のステップを踏み出すときなのです。」と呼びかけています。

今回の科目は、国連に関することも多く出題される「現代社会と福祉」です。いつものように、選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかもあわせて考えてみましょう。

■Plus Quiz

【第33回問題24】「人間開発報告書2019（概要版）」（国連開発計画（UNDP））の内容に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 「持続可能な開発目標」（SDGs）中の「2030年までに極度の貧困を全世界で根絶する」という目標を達成する目途が立っている。
2. 「人間開発指数ランクごとのグループ」をみると、2005年から2015年にかけての平均寿命の年数の伸びは、最高位グループよりも低位グループの方が大きい。
3. 人間開発の各側面のうち、健康の格差は、所得や教育の格差と異なり、世代間で継承されることは少ない。
4. 各国・地域の人間開発の格差を評価するには、一人当たり国民総所得（GNI）を比較することが最も適切である。
5. 人間開発の格差を是正するには、市場の公平性と効率を高めることが有効であり、そのために各国・地域は減税・歳出削減と規制緩和を実施する必要がある。

（注）「人間開発指数ランクごとのグループ」とは、世界の国・地域を人間開発指数の高い方から、最高位、高位、中位、低位の4グループに分類したもののことである。

答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

・（32期生）修了に関する書類は、11月1日（月）に発送予定です。届きましたら必ず確認し、もし書類の不足等がありましたらご連絡ください。

住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。

・（33期生）教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」、「スクーリング代替授業の履修」、「授業料の納入」が必須となります。本養成所の受講認定基準を満たした方に対して、11月初旬に支給申請に必要な書類を発送予定です。

・レポート評価票の課題及び課題番号の記入について、未記入や番号違いに注意してください。

また、必ずレポート評価票と原稿用紙はホチキスで留めてください。

・レポート評価票の科目と原稿用紙の科目の付け間違いに注意してください。

受付できない場合があります。

・レポート提出は、郵便事故や封筒の破損を避けるため、極力、郵便局窓口からの提出を推奨しています。

また、必ずコピー（控え）をとってください。

・参考文献及び引用文献の記入について、文献（URL）名のみ等、情報が不足しているレポートが散見されます。

受講の手引き P18-19 の「(3) 文章作法とルール」や、P22-24 の「(5) 参考文献・引用文献の表記方法」を確認のうえ必要事項をすべて記入してください。

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 34 回国家試験の試験日は、令和 4 年 2 月 6 日（日）です。

試験概要はこちら→<http://www.sssc.or.jp/shakai/gaiyou.html>

- ・中央法規より「2021 年度社会福祉士国家試験中央法規全国模試（在宅受験）」のご案内です。

詳しくはこちら→<https://www.chuohoki.co.jp/seminar/social/2969438.html>

- ・本養成所主催の「受験対策講座」を web にて開催する予定です。

令和 3 年 10 月 15 日（金）に、第 32・33 期生の皆様にご案内を発送しましたので、届いていない場合はご連絡ください。なお、受験対策ガイダンス動画は視聴可能です。全科目対応のオンデマンド動画は、共通科目（11 科目）のみ視聴可能です。専門科目（8 科目）については、11 月 1 日（月）以降順次公開予定ですので、今しばらくお待ちください。

受験対策講座ページへのアクセスはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=5529

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【Plus Quiz 答と解説】

国連デーに寄せて国連事務総長が、世界中の国々の結集と行動を発信しています。まさしく、私たちソーシャルワーカーの出番です。

コロナ禍で仕事がなくなった技能実習生を受け入れた農家があります。近所の外国人とのお付き合いから、入国管理の人権侵害問題に関心を持つようになった「ご近所さん」がいます。外国人に新型コロナウイルス感染症のワクチン接種情報が届くように工夫を始めた自治体があります。生活に役立つ日本語を教えながら、その孤立感を共有し、共に生きようとしているボランティアがいます。身近な隣人からグローバルな視野と視点を学ぶことができます。今、連帯すること、グローバル定義にもある「多様性の尊重」から社会的結束をめざしていきましょう。

今回のような問題は難問だと感じる方もいるかもしれませんが、選択肢の中には「これは違うだろうなあ」と思えるものもあり、消去法が有効となります。日頃から世界の出来事に目を向け、ニュースに敏感になることで、「常識の範囲」で答えることができるようになりたいものです。

1. ×報告書では、「2030 年までに極度の貧困を全世界で根絶するという、持続可能な開発目標が定めるターゲットを達成できる目途は立っていない」と明記されています。

2. ○この期間の平均寿命の伸びは最高位グループの 2.4 年に比べ、低位グループでは 5.9 年となっています。主な理由は、開発途上国での子どもの死亡率の低下とされています。

3. ×報告書には「親の所得と状況は、その子どもの健康、教育および所得に影響する」と書かれています。所得や教育の格差と同様に、健康の格差も世代間で継承されると考えられます。

4. ×報告書では、国内総生産（GDP）のような尺度に代わって新しい評価指標の開発が優先課題であると述べています。格差を包括的に評価するためには、所得と資産を考慮しなくてはならないが、健康や教育、尊厳、人権の尊重といった人間開発の主要要素に関する格差は、所得と資産の格差を見ただけではわからない恐れがあります。したがって、一人当たりの国民総所得（GNI）を比較することが最も適切であるとはいえません。

5. ×報告書では、公平性と効率を高めることが有効としていますが、そのためには、「課税」により重要な公共サービス（医療や学校）を改善し社会保障を提供すること、また、「規制（政策の実施）」により市場独占が避けられ、経済的競争条件を平準化できることと述べています。

※正しい選択肢にある数値を知らなくても、消去法により正解を導くことができます。SDGsについては、32回28でも出題されています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus